様式第4号（第6条関係）

菊池市議会議長

桝原 賢一

様

議員名 福島 英徳

政務活動費収支報告書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定に基づき、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 200,000 円

2 支出

<table>
<thead>
<tr>
<th>項 目</th>
<th>金 額</th>
<th>備 考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>会議研修費</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>調査研究費</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>資料作成費</td>
<td>380円</td>
<td>行政文書開示に係るコピー代</td>
</tr>
<tr>
<td>資料購入費</td>
<td>28,424円</td>
<td>セミナー4講座の資料代、地方議会運営辞典、議員必携</td>
</tr>
<tr>
<td>広報費</td>
<td>215,724円</td>
<td>個人広報の印刷および発送代</td>
</tr>
<tr>
<td>広聴費</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>人件費</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>事務所費</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>要請・陳情活動費</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>244,528円</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額 0 円（支出が収入を上回る場合は0を記入）
領収書

一般会計 70年度
納入者
住所
番地
氏名 福島 英徳
様
金額 ￥380円

但し 附注文書関連手数料 120円

上記の金額を領収しました。

平成 70年 11月 21日

菊池市
出納員 会計職員
氏名 総務課長 中尾 孝浩

印
領 収 証

福島 英徳 様 30年11月1日

* ￥20,000

但し 1/12「10周年記念特別セミナー in 東京」

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297

上記正に領収いたしました。

福島 領 収 証

￥5,400 (内消費税￥400)

2018年06月24日（日） 株式会社 明林堂書店

但し 地方議員連絡状典

上記金額正確に領収致しました。

福島 領 収 証

￥3,024 (内消費税￥224)

2018年06月18日（月） 株式会社 明林堂書店

但し 議員必携

上記金額正確に領収致しました。
## 請求書

福島ひのり様

<table>
<thead>
<tr>
<th>品名</th>
<th>数量</th>
<th>営業</th>
<th>営業</th>
<th>金額</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>市政活動通信</td>
<td>1,800枚</td>
<td>11.5</td>
<td>20700</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

小計
消費税
税込合計

---

# 領収証

福島英徳様

金額 ¥22,356

但し、上記金額正に領収致しました。
領収証 福島秀恵様 No. 

金額
47,913

内訳
税抜金額 44,369
消費税額等（8%） 3,550

DM作業代として
2018年 8月 16日 上記正に領収いたしました

北区浮間4-15-3　シャトランサイトー101
㈱エムケイプランニング

領収証 福島秀恵様 No. 

金額
70,189

内訳
税抜金額 62,082
消費税額等（8%） 8,107

DM作業代として
2018年 10月 24日 上記正に領収いたしました

北区浮間4-15-3　シャトランサイトー101
㈱エムケイプランニング

領収証 福島秀恵様 No. 

金額
73,721

内訳
税抜金額 67,305
消費税額等（8%） 6,416

DM作業代として
2019年 1月 29日 上記正に領収いたしました

北区浮間4-15-3　シャトランサイトー101
㈱エムケイプランニング
御請求書

福島 秀憲様

御請求金額 ¥47,913

上記の通り御請求申し上げます。

銀行振込をご指定の場合、下記口座のいずれかにお振込ください。
三菱UFJ銀行 赤羽駅前支店（177）普通 0935320
城北信用金庫 濱間支店（032）普通 5013126
浅野川信用金庫 濱間支店（010）普通 8942027

<table>
<thead>
<tr>
<th>内 容</th>
<th>部 数</th>
<th>喜 価</th>
<th>金 額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>市政活動通信 vol.1</td>
<td>525</td>
<td>5</td>
<td>2,625</td>
</tr>
<tr>
<td>シール貼り</td>
<td>525</td>
<td>5</td>
<td>1,575</td>
</tr>
<tr>
<td>封入1点</td>
<td>525</td>
<td>3</td>
<td>1,575</td>
</tr>
<tr>
<td>三つ折り</td>
<td>525</td>
<td>3</td>
<td>1,575</td>
</tr>
<tr>
<td>シール打出手数料</td>
<td>525</td>
<td>3</td>
<td>1,575</td>
</tr>
<tr>
<td>長3 OPP封筒</td>
<td>525</td>
<td>2.5</td>
<td>1,313</td>
</tr>
<tr>
<td>メール便</td>
<td>525</td>
<td>68</td>
<td>35,700</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【小 計】 44,363
【消費税】 3,550
【合計額】 47,913
御請求書

福島 秀憲 様

御請求金額 ¥70,189

上記の通り御請求申し上げます。

銀行振込をご指定の場合、下記口座のいずれかにお振込ください。
三菱UFJ銀行 赤羽駅前支店（177）普通 0935320
城北信用金庫 浮間支店（032）普通 5013126
茨城信用金庫 浮間支店（010）普通 8942027

<table>
<thead>
<tr>
<th>内容</th>
<th>部数</th>
<th>営業</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>市政活動通信 vol.2</td>
<td>534</td>
<td>4</td>
<td>2,136</td>
</tr>
<tr>
<td>シール貼り</td>
<td>534</td>
<td>4</td>
<td>2,136</td>
</tr>
<tr>
<td>封入1点</td>
<td>534</td>
<td>3</td>
<td>1,602</td>
</tr>
<tr>
<td>シール打出費</td>
<td>534</td>
<td>4.5</td>
<td>2,403</td>
</tr>
<tr>
<td>A4 OPP封筒</td>
<td>534</td>
<td>68</td>
<td>36,312</td>
</tr>
<tr>
<td>メール便</td>
<td>1,800</td>
<td>10.5</td>
<td>18,900</td>
</tr>
<tr>
<td>A3 両面カラー コート90Kg</td>
<td>1</td>
<td>1500</td>
<td>1,500</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【小 計】                  64,989
【消費税】                  5,200
【合計額】                  70,189
御請求書

平成31年1月16日 NO.76

福島秀憲様

御請求金額 ¥73,721

上記の通り御請求申し上げます。

銀行振込をご指定の場合、下記口座のいずれかにお振込ください。
三菱UFJ銀行 赤羽駅前支店（177）普通 0935320
城北信用金庫 池袋支店（032）普通 5013126
渋野信用金庫 池袋支店（010）普通 8942027

<table>
<thead>
<tr>
<th>内 容</th>
<th>部 数</th>
<th>営 価</th>
<th>金 領</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>市政活動通信 vol.3</td>
<td>557</td>
<td>4</td>
<td>2,228</td>
</tr>
<tr>
<td>シール貼り</td>
<td>557</td>
<td>4</td>
<td>2,228</td>
</tr>
<tr>
<td>封入1点</td>
<td>557</td>
<td>3</td>
<td>1,671</td>
</tr>
<tr>
<td>シール打掛費</td>
<td>557</td>
<td>3</td>
<td>1,671</td>
</tr>
<tr>
<td>A4 OPP封筒</td>
<td>557</td>
<td>4.5</td>
<td>2,507</td>
</tr>
<tr>
<td>メール便</td>
<td>557</td>
<td>68</td>
<td>37,876</td>
</tr>
<tr>
<td>A3両面カラー コート90Kg</td>
<td>1,800</td>
<td>10.5</td>
<td>18,900</td>
</tr>
<tr>
<td>チラシ配送費</td>
<td>1</td>
<td>2,000</td>
<td>2,000</td>
</tr>
<tr>
<td>残物配送費</td>
<td>1</td>
<td>850</td>
<td>850</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【小 計】 68,260
【消費税】 5,461
【合計額】 73,721
みなさん、こんにちは。
福島ひでのりでございます。

去る5月20日の菊池市議会議員一般選挙では、知名度も少ない新人であってもかからず、皆様から本当に多くのご支援のおかげをもちまして議会の場に立つ機会をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

これからの4年間は、これまで培ってきた民間での経験を活かし、税金によって議員活動させていただいていることを肝に銘じて、菊池市のために、市民目線で邁進いたします。
今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

Profile
1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ（57歳）
1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
2009年 10月 廣島義塾大学経済学部卒業
2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人（同和JEM）代表理事副社長
2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選（1期目）

平成30年6月8日に、初の臨時議会が行われ、議長・副議長および各常任委員会の構成が決定しました。
福島ひでのりは、福祉厚生常任委員会（福祉・環境・税務に関して）に所属することになりました。
また、議会広報特別委員会、および熊本地震からの復旧・復興特別委員会の副委員長に選任いただいております。
一般質問

第三セクターの方向性について

福島：第三セクターの設立目的についてお聞かせください。

経済部長：平成4年～7年にかけて農業および商業、振興の拠点とするために設置され、管理運営主体として官民共同の出資法人であります第三セクターがそれぞれ設立され運営しています。地域住民の所得向上、地域からの雇用促進、地域農産物の販売促進を行うことにより、地域の活性化を行うことにしています。

福島：その目的達成のとおり考えますか？

経済部長：4地域それぞれの特徴を活かしたものとなっており、生産された多種多様な農産物や物産品の販売が、物産館に確保できていることで生産者の方々の所得向上と経営安定につながっております。生産者は自分が作った作物がお客様に喜んでもらえることに生きがいを感じている方も多く品質向上意識も著しく高まり、栽培技術や育成工夫を進めています。

地域活性化については、物産館やその駅は地域住民の誇りであり、県内外から多くの方が訪れてくことができ、地域観光や商業の活性化につながっているようです。

福島：地域の物産館の過去10年間（平成20年～30年）の売り上げと損益について調べていただきました。

経済部長：経常利益では黒字決算になってはいるが、本業である営業損益で赤字決算の物産館が散見されます。生産、本業である営業損益で利益を出す体制づくりが必要だと考えますが、今後の考えをお聞かせください。

経済部長：売却販売および一般管理費の支出を含む営業外収入により、経常利益が増加しています。営業利益を確保することが本来の目的であるため、そのような努力を各物産館は行うことである。

福島：毎年年初には売上計画と損益計画を立てる際、売上を伸びる方策や営業利益の設定等を十分に論議し、しっかりと利益を出す工夫を行い、株主配当を増やし、従業員の給料を上げ、生産者も傍で営業業績が望ましいと思います。

次に、営業外収益の差についてお答えください。きらり観光物産館では、平成20年～27年度の7年間は100万円～180万円だった営業外収益が平成28年度からの3年間で20万円まで減っています。

また、メロンドームでは、平成20年～26年度に1,500万円前後だった営業外収益が、平成27年度は2,650万円、平成28年度には6,270万円まで増えています。

経済部長：第三セクターは独立法人のため、経営状況についての詳細はお答えできません。

福島：旧菊池市の生産者の（出荷者）の方から、メロンドーム出荷する場合30%の手数料を徴収されるが、七城町の生産者の（出荷者）の場合は10%程度のところです。このことは事実なのでしょうか？

経済部長：出荷手数料を物産館に確認したところ、地域内の生産者が出荷する農産物は、12%～15%地域外の生産者が出荷する農産物は、17.25%～25%農産物以外の加工品や果物類は、20%～40%とのことでした。

福島：物産館の延べで菊池市は大株主です。設立当初は行政の手助けが必要だったかと思われる物産館も、うち十分に自立できているのではないですか？

菊池市の生産者が菊池市の物産館に出荷する場合、手数料を統一するか否かは自然のように思います。

第三セクターの物産館に関して、地域の特徴を活かした相乗効果が得られる方策、出資比率の見直しも含めた菊池市が行うべき今後の方向性をお示しください。

市長：平成26年に菊池市が作成した行政改革大綱においても、組織の統合等を含め自主自立した運営の転換を図る方向感を出しております。

手数料の違いは独立した第三セクターであるため、例えばメロンドームに継続した取引を希望される場合は、出荷者協議会に参加されることも可能です。会社は別々であっても一体性で顧客が選択されるようなことを目指しています。三セク社長会（協議会）を設置し、種々の横断的なテーマについて活動しています。

Focus

平成30年第二回菊池市議会定例会は、6月26日から7月13日までの18日間で開催されました。当初の一般会計予算に今回議会で補正予算として1億165万円が追加され、菊池市の一般会計予算は294億2,465万円となりました。この予算が妥当なのか？無駄はないのか？これからは、しっかりとチェックしてまいります。

福祉厚生大臣選挙では、特別養護老人ホーム「つまごめ荘」の2020年4月の民営化開始に向けた報告を受けました。計画書（案）では2018年10月に移譲先事業者選定委員会の設置を、同年12月に公募開始となっていますので、移譲先事業者選定の選定には公平性が担保されているのかをきちんと見定めたいと考えます。
みなさん、こんにちは。
福島ひでのりでございます。
台風や地震による被害に遭われた方におかれましては、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日でも早い復興を願っております。

菊池市議会議員としての活動も4か月が過ぎました。本会議においてもそうですが、議案に対する個々の案件ではなく、複数の案件を一括で採決されるときに、すべてに賛成もしくは反対ではない場合の意思表示をどのようにするべきか、戸惑うことも多々ございます。

これからはさらに、議会の使命として、執行機関の行財政の運営等が適法・適正に、かつ公平性が保たれているか、きちんと批判もできるように議会運営の知識を増やし、菊池市のために、市民目線で邁進いたします。

Profile
1961年7月 菊池市七城町高田生まれ（57歳）
1979年3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
1986年4月 日本電子材料株式会社入社
2009年10月 厳島義塾大学経済学部入学
2012年4月 日本電子材料株式会社韓国法人（同和JEM）代表理事副社長
2018年3月 日本電子材料株式会社退社
2018年5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選（1期目）

平成30年9月15日 - 16日に、滋賀県の琵琶湖で、レガッタ（ボート）競技の全国大会があり、結果は16艇中15位のブートででした。生まれて初めてレガッタ競技を体験しました。それなりに体力には自信があったものの、腕で漕ぐのではなく脚力を上手く使うことを覚悟した良い経験でした。

ご意見をお待ちしています！
購読者も募集しておりますので、お知り合いにご希望される方があれば、お気軽にご連絡ください。
市民の声を市政に活かす 一般質問

議員個人が、市政について疑問点をたずね提案し、改めたいこと・実現したいことに関する報告や説明を求め、市長や部長等が答弁します。答弁内容から、執行部が適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

健康推進まちづくりの取り組みについて

福島：今回質問内容に対しまして、誤解がないようにこれは先にお伝えいたします。

介護サービスを受けられることを否定するつもりはありませんし、必要に応じて遠慮なく活用していただくべきだと思っています。

現在の介護保険制度は、必要と認められた方の介護を社会全体で支えあう仕組みであり、共助の制度であるこというまでもありません。ただご本人やご家族にとっては、とても助ける制度でもあります。

中学生以下の完全医療費無料制度についても同様に、必要に応じて医療機関を遠慮なく利用していただくべきだと思っています。

質問の主旨に当たります。この介護制度は、支えあう仕組みで成り立っていますから、40歳からは何歳になるにも保険料を納め続ける必要があります。

しかしながら、高齢者の方、例えば90歳になっても介護を必要とされない方はいらっしゃいます。そのような元気な高齢者の方のために保険料を納められています。65歳以上の方の基準額は、年間78,300円です。

京都府では、平成24年から平成29年度まで、90歳になられ介護サービスが必要とされない方に、3万円の地域振興券を渡されており、実際にはこのような自治体もあります。

また、昨年12月から中学生以下対象に、医療費の完全無償化が実施されました。子育て世代の方々にとって、安心できる制度だと思います。

本市としての介護予防や予防健康への取り組みについてお聞かせください。

健康福祉部長：高齢者への取り組みは、健康の予防として地域の自治公民館等を活用した、100歳いきいき体操を行っています。これは、筋力の維持はもちろんのこと、からだの健康だけではなく、地域づくりの場・交流の場として、心の健康にも効果があると考えています。

福島：本市でも取り組まれている、初期段階での治療や予防接種、そして特定検診の受診率向上等、水際での予防が大切だと思われております。

「活動されたい」、「報奨を受けたい」からといって、我慢や無理をすることは絶対に避けるべきですが、日頃から予防健康に取り組み、結果健康で元気な高齢者や子供たちに、あがる気持ちを伝えるためにも報奨制度がきちんと重視して、市の考えをお聞かせください。

市長：・・・・・・・・（答弁いただけます）

健康福祉部長：報奨制度ではありませんが、いきいき100歳体操に参加されている90歳以上の方々に長寿になる目標となることも尊敬の意も込めて表彰状を授与したところ、大変喜ばれたところです。また健康づくりポイント事業において、健康づくりや介護予防の面からポイントを付与する取り組みを準備中です。ご質問とは直接関係はありませんが、3歳児検診時に、むし歯ゼロの児童を毎月”歯っぴーきっず”で広報誌に載せています。

中学生以下の完全医療費無料化に拡充したばかりでもあり、先ずは検証が必要だと考えております。

報奨制度に関してはいずれも考えてはいません。

菊池市への観光客をいかにして増やしていくか

福島：市長は常日頃、菊池市は宝の山だとおっしゃっています。

そこで、宝の山の菊池市に観光客をいかにして増やしていくか？

まず、菊池市の魅力は何だと思われるのかを、改めてお尋ねします。

次に、海外からの新規やビピーテいた增やす取り組みについてお尋ねします。

それらから、これまで菊池市の魅力を活かすため取り組まれてきたこと、その成果についてお示しください。
経済部長：日本名水百選の菊池渓谷、菊池一氏の歴史や文化、日本名湯百選の菊池温泉、そして全国でも上位の農富な農林農産物が挙げられます。

熊本地震以降閉鎖していた菊池渓谷も、今年3月の再開以来毎年以上に、療養の観光スポットとして改めてその魅力を発信しています。

NHKの“西郷どん”にあやかり、ストーリーブック等でアピールすることにより、全国に30万人といわれる菊池性を客観されるみなさまを中心に菊池ファンづくりに取り組んでいます。

海外からの新規・リピーター獲得のための取り組みとしては、インパウンドの拡大や熊本県・山鹿市・和水町で作っている県北観光協議会で、熊本空港を拠点として台湾をターゲットに誘致活動を行っています。

福島：菊池渓谷を親近目玉の一つとおっしゃいました。同感です。菊池渓谷への入谷者数は今年3月の再開以来、震災前の平成27年に比べて20%増加しています。しかしながら、近場での駐車場確保が困難な状況において、本市としては駐車場拡張等のインフラ整備についてはどのようにお考えですか？

経済部長：菊池渓谷近隣の駐車場拡張は、阿蘇くじゅう国立公園でも、新たに設置するのは難しいため、通常は渓谷入口の第一駐車場と下流の第二駐車場を使用していますが、対応されない対応や高速道路の繁忙期は、入口から阿蘇方面に1.5km離れた中央駐車場を開放して、そこからシャトルバスを利用してもらっています。

福島：近場で駐車場の拡張が難しいことはわかりましたが。しかし現状シャトルバスの運行状況に満足はできていないと思います。もっと頻繁に運行させるため駐車料金を普通車以下、現行の200円から500円に上げてでも利用者にストレスを与えない取り組みは急がれる課題だと考えます。

ここからは提案です。

海外からの宿泊者数は、震災前に比べて約年間で2倍程度（2万人から4.2万人）に増えています。外国人観光客の方も平成29年10月末現在で、960名いらっしゃいます。このような海外からの観光客や研修生も含めた労働者が自国に帰ったら、菊池市をPRしたいと思う環境をつくるべきだと考えます。海外の方や若者の方はSNSを活用して、インスタグラムにアップすることで、良さも悪さも拡散してくんでいます。

そのインスタグラムを活用したインスタ映えスポット。これは菊池の魅力である、菊池渓谷であり、菊池温泉、菊池一氏の歴史文化、そして何といっても農林農産物を核とした食文化を、もっとブラッシュアップして、海外も含めた全国規模での“インスタ映えコンテスト”を行うことで、菊池市を全国的にアピールするのはどうでしょう？まずは菊池市を知ってもらう。認知度を上げる工夫が必要であり、現状においても一方的な発信方法ではなく、参加型にすることが効果です。

それは、地元の企業や団体からも協力いただき、官民共同で菊池市を活性化できればと思っています。

先月の9月18日と9月19日に、熊本県ポート協会主催のコップファームカップレガッタが、竜門ダムで開催されて、テレビのニュースでも取り上げられました。そこで大会後の松岡社長は、「これを機に竜門ダムのレガッタ、そして菊池市の魅力を広めていきたい」とコメントされていました。

まだ埋まったままかもしれない、菊池市の宝（魅力）を菊池市内外の方々に掘り起こしていただく機会を設けませんか！その一つの手段として、先ほど申し上げた、海外も含めた全国規模のインスタ映えコンテストを、地元の企業や団体ともコラボレーションすれば、菊池市を全国的にアピールできると思います。市長が日頃おっしゃっている宝の山には、そのボテンシャルが十分にあると思いますが、市長の考えをお聞かせください。

市長：菊池の良さはまさに自然にあると思っています。価値観も変わってきており、5、6年前から足元に眠っている宝を掘り起こすことで、中にいたらずかいことを、気づかせることが大事であって、そのプロセスを踏んでいるところです。

ご提案のインスタ映えコンテストは時代に合っていると思いますし、参画者が増え世紀に限る可能性もあるが、検討していきたいと思います。

インパウンド⇒ 元々は「外から中に入り込む」という意味ですが、外国人の訪日旅行の意味で使われることが多いようです。

SNS⇒ Social Networking Service（ソーシャルネットワークサービス）の略で、人と人との交流を手助けするためのインターネット上のサービスです。

インスタグラム⇒ SNSに含まれますが、他のSNSとの大きく違うポイントは、文章での情報ではなく写真や動画で自分が伝えたい情報を表現するSNSです。
気になった一般質問！

みなさまにあまり騒ぎがないかもしれませんが、6月に発行された機関紙（月刊ポリシー発行）に、菊池市中央図書館の椅子購入に関する記事が掲載されました。指名競争入札の経緯や、落札後のすっかりな菊池市の対応について、直接聞きたく当社に電話をしましたが、残念ながら在宅で聞き取りはかかっていませんでした。

記事が載った後も大して騒がれることもなかったため、静観していたところ、9月定例議会で荒木崇之議員から菊池市中央図書館の閲覧用いす購入に関して、厳しい一般質問が行われました。

金額の多少にかかわらず、議会はチェック機能を果たすのは義務であり、また執行部は市民が納得できるような丁寧な説明が当然です。もしも瑕疵（かし）があるのであれば、謝る勇気もたなければなりません。

本議会での反省点として、議案第83号（平成29年度一般会計歳入歳出決算要案）で上記の図書館椅子に対する反対討論がありました。椅子購入に関しては同意でしたが、同議案による別の反対討論には同意できなかったため、議案には賛成の立場をとったことです。もっと議会運営の知識を学び取り、きちんと意思を示すため努力してまいります。

1. 入札が13社に対して9社が入札回達で4社が応札
2. 入札した会社から、指名入札された椅子（地場業者で自然発注することが困難な外国製で1社指定の特注）を納入できないばかりか、菊池市は元々同等品不可としながらも、代替椅子（価格は2割増）の納入を認めた。更には、その落札業者にその費用負担をさせないどころか、納期優先のことで、空運運賃まで支払っている。

一般的で取り上げられた菊池市中央図書館の閲覧用いすはこちらです。

お知らせ

一般質問で取り上げられた菊池市中央図書館の閲覧用いすをご体験ください。

福戸厚生委員会での提案！

☆つまこめの脳の健康化に向けて、入所者が安心できる環境をつくることが肝要です。
移譲先（社会福祉法人）選定には、公平性と透明性から選定の評価基準や評価内容の公開は求めますが、移譲先事業者選定委員会の委員選定は慎重に行い、委員に対してはどこからも圧力がかからないように求めていきます。

☆菊池市では、近隣の市町（合志市・菊陽町・大津町）には、すくすく子育て祝金制度があります。毎年1千万円強を支払われていますが、現状の10倍程度増やすことで、若い世代の方が住みたいと思うであろう提案をしました。

平成29年度の歳出額は、約337億円です。無駄とは言えませんが、削る予算を探して祝金を今年の10倍以上支給できるように取り組みます。

Focus

☆議案第92号については水道使用料の不納欠損141万600円が計上されましたが、不納欠損する場合は議会に報告義務があること、経済建設委員より指摘されました。水道使用料の債権放棄の報告が後日議会へ報告されました。各委員会においても、議案の不納欠損が多くみられました。特に私債権に関しましては、公共の不平等をなくすためにも注視いたします。

☆議案第95号では、工事請負契約の変更を追加議案とされました。平成30年4月23日に議決を経た、菊池市ふるさと創生市民広場（旧菊池グラウンド）再整備1期工事費用を1千万円以上増やすという内容です。

● 宿日行者安全のための照明費：330万円
● グラウンドの芝の変更費：310万円
● 韮落防止策：110万円

指名競争入札において、明らかに見積もりミスと思えることが、簡単に修正できる本市執行部のシステムに疑問が残りました。

☆議案第74号の菊池市営グラウンド条例の改正では、資料の添付不備がありました。委員からの指摘で訂正が行われたように、今議会では、執行部の不備が目立っていたように感じます。
市政
活動通信

平成30年12月議会vol.3
Kikuchi city council member Report

新年明けましておめでとうございます
公職選挙法により選挙区内には年賀状をお送りできなかったことをお詫び申し上げます。

今年も菊池市の発展のため、議会において「是を是として認め、非を非として反対し、公平的な立場」を貫くとともに、
第三的にイノベーション（変革・改革）にも取り組んでまいります。

本年は、みなさまにとって素敵な一年になりますことを、心より願っています。

Profile
1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ（57歳）
1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
2009年 10月 慶応義塾大学経済学部入学
2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人
（同和JEM）代表理事副社長
2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選（1期目）

平成30年10月17日〜19日に、福祉厚生委員会の研修で新潟県の見附市と十日町市を訪問しました。見附市では“スマートウルネス”活動で「外出いただく施設」と「自家用車に頼らずに暮らし」まちづくりの一環として、【デマンドタクシー】・タクシー自転車両を使用し、決まった時刻に停留所で乗降できるサービスや、【コミュニティワゴン】・各地域と見附地区をつなぐワゴン車。地域コミュニティが連携して定期的に運行する公共交通網があり、実際利用しましたが、利用されている方々も多く活気を感じました。菊池市の公共交通網も、各地域内や各地域間をつなげ市民だけでなく観光客にも利便性を与えるためにも仕組み作りの必要性を感じました。

ご意見をお待ちしています！
読者募集中ですので、お知り合いにご希望される方がいれば、お気軽にご連絡ください。

連絡先
〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田640-1
TEL：0968-24-3087 090-9076-1245（携帯）
発行者：菊池市議会議員 福島英徳
一般質問

市民の声を市政に活かす

議員個人が、市政について疑問点をたずね提案し、改めたいこと・実現したいことにに関する報告や説明を求め、市長や部長等が答弁します。答弁内容から、執行部が適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

骨髄移植ドナー登録への取り組みについて

福島：日本国内で白血病・再生不良性貧血などの治療が困難な患者さんで、非血縁者間の骨髄移植や末梢血管細胞移植を必要とされている方は、毎年少なくとも2,000人と言われています。日本骨髄バンクに問い合わせたところ、血縁者と兄弟姉妹で4分の1の確率で一致します。しかし親子では稀にしか一致せず、非血縁者（他人）間では、数百から数万分の1の確率でしか一致しないということです。

現在のドナー登録者は全国で約49万人ですが、非血縁者で一致するのは全国約6,951人で全国23番目です。そして県内では13人の患者さんが骨髄移植を待っています。

菊池市内でのドナー登録者は、平成30年3月現在189名です。このような状況なので、市民ではどのような啓発活動を行われているのかお聞かせください。

健康福祉部長：亀城市におきましては、より多くの方にドナー登録をしていただくため、骨髄移植について理解していただくことが重要と考えており、市役所や各支所、各公民館に啓発のためのリーフレットを置いたり、広報やホームページに掲載し、献血時に周知を行っています。

福島：献血時に周知されていることですが、今年10月に市役所で行われた献血・骨髄バンク登録推進月間だったにもかかわらず、見向きもされない職員の方がいて、とても残念だったとある市民の方からお聞きしました。反対に女性職員の方からは、体重や体重が足りないため献血できないけど骨髄バンク登録は可能ですかと聞いて積極的に登録された方もいらっしゃるとお聞きしました。

全国の自治体がドナー登録への啓発として、どのような取り組みを行っているのかを調えてみました。目に留まったのは平成30年11月15日現在で、38都府県426市町村の自治体が行っている提供ドナーへの助成制度です。

熊本県では宇土市ののみが助成を行っており、患者さんが骨髄移植をされた場合、一律10万円を助成する内容でした。平成26年から制度化され支払われた件数は5件（50万円）、少なくとも5年間で5人の尊い命を救った可能性があるわけです。

生きることをそのようにも広げていく！

ドナー登録にあたっては、わずか2ccの採血で済みます。いきなり骨髄液の採取はありません。そして誤解してほしくないのは、仮に患者さんと完全一致しても骨髄を移植するかどうかは、最終的には本人と家族の判断に委ねられますので、拒否することも可能です。

市民としても啓発活動として、助成を行う効果は十分にあると思いますが、考えをお聞かせください。

健康福祉部長：骨髄移植ドナーへの助成については全国レベル考えることであり、市民では考えていません。

福島：全国レベルでとの答弁ですが、国や県の動向を注視しなくても、既に426の自治体が助成しているのです。宇土市の制度であれば、年間に2名の方に助成したところ20万円です。この予算で尊い命を救えるとなるかがどうでしょうか？

市長：熊本県市長会で平成29年に要望書を提出し、平成30年にも同様に提出しています。これは全国レベルで対応するべきであり、状況を見守りたいと思っております。

福島：市内には20万円を予算化できないほど財政が厳しいのでしょうか？

市長：繰り返しますが、市長会としては国の制度としてお願いしている段階であり、提出した要望書に矛盾するため状況を見守りたいと思っています。
菊池市のイベント開催の
あり方について

福島：啓事でイベントを抱えている課や室は全部で
14。イベントの総数は90件。予算総額が7,600万円余りです。イベントと申しましても部門も多岐にわ
たり範囲も広すぎるので、今回は「まつり」と「スポーツ大会」に関して質問いたします。

まずは10月27日に行われた、七城ふるさとコース
モス祭り・コスモスウォーク・ラリーについてお尋ねし
ます。参加者が減少傾向に聞くをきります。その要因
として、コスモスの量と質が関係しているように感じ
ます。大会前にコースを散策しましたが、冠にコスモ
スと話っているに則しては、はっきりいってお粗末なレ
ベルでした。市内外からの参加者へ「もとてなし」の
気持ちで運営すれば、もっと素敵なイベントになって
いたことだと思います。

このような感想を受けましたが、今後の取り組みに
ついて考えをお聞かせください。

経済部長：運営に関しては実行委員会で協議・
検討を行われています。集客の目的として今年から、
ウォーク・ラリーではチェックポイントを設定して特産物
の提供をさせていただく取り組みを行いました。コスモ
スについては、今年は夏場の干ばつ前の影響もあり生
育が遅れたようです。

福島：イベントを行うことは部門間の横断であり、各
団体や市民との連携で盛り上げるものだと思います。
11月21日に各団体と議会で行ったワークショップ
形式の意見交換会では、各団体からイベントが多いす
るとの意見をたくさんいただきました。
イベントは盛り上がる、盛り上げるものであって疲弊
してはならないと思います。イベントの企画はどこで
行われているのでしょうか？また、どのような手順を
踏んで決定されているのかをお聞かせください。

教育部長：スポーツイベントに関しては、各種団体
等との連携を準備を始め、実施後は必ずアンケートを
とり、実行委員会で反省会を行い次年度につなげてい
ます。

経済部長：菊池市長、区長会長、JA菊池理事、議員
経験者等で構成されている実行委員会で、存廃の見直
し方針や課題・解決策を見つけています。

福島：そうそうたるメンバーで構成されている実行委
員会のようですが、現状から想像するにとても機能し
ているとは思えません。

次年度のイベント開催について存続か廃止かを決め
る、市民参加型の実行委員会を新たに設置するべきだ
と考えます。

そして、市職員を動員しなければならないイベントは
極力なくす考えも必要ではないでしょうか。

一昨年、現在のイベント数が半分くらいに減らし存続
させるイベントの質を上げて、菊池のまつりやスポーツ
大会の目玉を作るべきだと思います。

旭志市平成31年の元旦に行われる日本一早いマラソ
ン大会。市民主導とのことですが、今後のイベントモ
デルとしても素晴らしい取り組みだと思います。

今後のイベント開催について、市長の考えをお聞かせ
ください。

市長：市が携わっているまつりのひとつは、地域住民
のふれあい交流。そして観光客を念頭に置いた集客に
よる本市経済の活性化を目的としています。

毎回まつりの前に、質の部分に対する見直しがな
されており、各実行委員会等において企画段階では前
年の反省、実施後も反省会を開いて集客の数等も含め
て課題解決に取り組んでおられます。

数の問題については、平成17年の合併以降さまざまな
面で見直しがされ、今現在のまつりおよびイベントになっているわけです。ただし、市一つになって
たらわけで減らしたぞどかとの議論もあったようですが、旧自治体における地域の交流もあり、地域の方々
の気持ちに寄り添って行う必要があります。

イベントによる発売の声があがるのは、ご負担が特
定の人に出着しているからだと思うんです。そのよ
うな声は市役所職員からも長年聞いています。実態は
職員の負担が多いことも多々ありますので、本来であ
ればもう少し地域の人に入っていたいたいと思います。
また存続か廃止については地域の方々がどのように
かかわろうとしているのかを活発に議論されて、そ
ういった意見を率直に聞きたいと思っています。

* リフレッシュ⇒宣伝・広告や案内・説明用に、1枚の用紙
から作られ、2つ折りや3つ折りにされています。パンフレッ
トは1枚の紙とは限らず、複数枚の紙を縦に作成されます。
* ワークショップ⇒参加者自らが積極的な意見交換や協働体
験を通じて、まちづくりなどのコミュニティ活動における問題
解決や合意形成の場としても多く活用されています。
なぜ百条委員会の設置に反対する？

菊池市中央図書館の椅子問題は、11月の議会報告会でも市民の方々の関心が高いことがうかがえました。私たちとしても経緯について執行部からの丁寧な説明がないまま、問題はないと立場をとる姿勢には納得いきません。税金で購入している認識があまりにも希薄なように感じます。何の瑕疵（かし）もないのであれば、市民からの住民監査請求にもきちんと応えることができるが、監査結果と執行部の発言内容との差別があるとします。

今回、荒木崇之議員から百条委員会の設置を提案されました。執行部も議会も事実をはっきりさせると良い機会であるにも関わらず、本議会では賛成4反対15（議長除く）で否決となりました。拒否する姿勢そのものに疑念を抱かざるを得ません。

1 百条委員会
地方自治法第100条に基づき、地方議会が設置し、自治体の長や議員の疑義や不祥事の真相を究明する。通常の委員会よりも強い権限を持ち、調査対象の関係者に出頭を求めて聞き取りをしたり、証拠や記録の提出を要求したりすることができる。正当な理由なく証言を拒否したり、偽の証言をしたりした場合は、禁錮刑や罰金刑が科される。

出典（2017-12-26 朝日新聞夕刊 1総合）

訂正のご報告！

平成30年11月19日に七城公民館で行われた議会報告会において、菊池市中央図書館の椅子に関する市民の方からの質問に対して、総務文教委員長が「大津町でも1脚10万円の椅子を30脚購入している」との答えがありました。その後、機関紙（月刊ポリシー277号）から指摘があり市議会で調査したところ、大津町ではこのような椅子を購入された事実はないとのことでした。

委員長の誤った発言により、関係用椅子問題を紛らわす印象を与えかねず、市民の方に対しては議会の信頼を損ないかねない失態を反省するとともにお詫びいたします。
また、大津町に対しては事実無根の発言により多大のご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。